

トロイ市から14年ぶり訪問



国際姉妹都市トロイ市

アメリカ・オハイオ州トロイ市から14年ぶりに中学生等訪問団の生徒14人と引率者4人が高梁市を訪れ、8月8日から16日までの9日間、市内でのホームステイなどを通じて日本の生活に触れました。

トロイ市とは、平成2年に国際姉妹都市縁組を締結し、公式訪問団や生徒訪問団の相互派遣など36年にわたり交流を続けています。

言語の違いを超えて

深まる友情

訪問団の皆さんは、ホストファミリーと共に備中松山城へ登城したほか、書道や昔遊び体験、松山踊りへの参加などを通して高梁や日本文化への理解を深めました。活動中、歓声や笑い声に包まれる場面もあり、言葉の違いを超えて友情を育んでいました。



海を越えて再会

つながる心と絆

ホストファミリーの一人として受け入れを行った真野七海(まのななみ)さんは昨年、姉の葉奈(かなな)さんは令和5年にトロイ市を訪れ、同じ家庭にホームステイをしました。今回、その家族の父ネイサンさんと娘シャロットさんが訪問団として訪れ、真野さんはシャロットさんをホストファミリーとして受け入れました。

七海さんは、「お世話になったお二人との再会を心待ちにしていました。最初はお互いに緊張して、上手くコミュニケーションが取れませんでした。ジェスチャーや簡単な英単語を使い、自然と距離が縮まり、とても仲良しになりました。」と話してくれました。



また、これまでに二度、ホストファミリーとして真野さん姉妹を受け入れたことがきっかけで、初めて日本を訪れたネイサンさんは、「食や文化など、アメリカとの違いを感じることで、とても新鮮です。特に人の温かさや親切さが心に沁みます。高梁市とトロイ市がこれからも交流を深めていってほしいです。」と話されました。

思い出とともに帰路へ

15日のお別れ夕食会で互いの別れを惜しみ、訪問団一行はホストファミリーに見送られながら、翌16日に帰国しました。両市の友好は相互の訪問の度に深まり、この度の受け入れも将来に向かって友好の礎となりました。

